

カ ッ コ ッ カ ム イ
(14) KAKKOK KAMUY カッコウの神

カ ッ コ ッ カ ム イ ヤ イ エ ユ カ ラ
“KAKKOK KAMUY YAYEYUKAR
カ ム イ ユ カ ラ
KAMUYUYUKAR”

「カッコウの神が
自分のことを歌っ
た神謡」

サケヘ：ハン カッコク カッコク
sákehe: han kakkok kakkok

折り返し：ハン カッコク カッコク
折り返し6拍、歌詞だいたい1行4拍

ワ テ ケ
Wateke

鳩沢ふじの(ワテケ)((福満))

ハン カッコク カッコク
han kakkok kakkok

1 ハン カッコク カッコク

1) han ハンは鳥の神謡の折り返しによく出てくる。kakkok カッコクは鳴き声で、その鳥の名称にもなっている。

アアンテホク
a=antehoku

2 私の夫と

2) an-te-hoku アン・テ・ホク《いる・させる・夫》は、叙事詩の中で夫を表す。妻はantemaci アンテマチ。

ハン カッコク カッコク
han kakkok kakkok

ハン カッコク カッコク

トゥラノ タツネ
turano tapne

3 一緒に

3) tapne タツネ《このように》は、文法上も意味上もここになくてもよい語だが、これが入ってこの行が5音節に整っている。

オカアン キ コロ
oka=an ki kor

4 暮らしていますと

ハン カッコク カッコク
han kakkok kakkok

ハン カッコク カッコク

4) ki キ《する》が入ってこの行が5音節に整っている。

カムイヘネ
kamuy hene

5 夫は熊でも

ユク ヘネ yuk hene	6	鹿でも	5-7)昔話でもよく出てくる表現。
エアウナルラ eawnarura	7	とってきてくれますので	
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok		ハン カッコク カッコク	
アエルスイベ a=e rusuy pe	8	私は食べたいと思うものは	8-9)昔話ではもっと長い言い方で言うが、韻律のためにこのような表現にして、各行を5音節ずつにまとめている。
シネツカ イサム sinep ka isam	9	一つもなく何不自由なく	10)食べものにも持ちものにも不自由なく豊かに暮らしていた。
ウエビリカアン。 uwepirka=an.	10	二人で幸せに暮らしていました。	11) penune ベヌネは、歌う韻文で、前の動詞を受けて「そうして」と続けるときに使われる。人によって enune エヌネと言う。
ベヌネ カネ penune kane	11	そのようにして	
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok		ハン カッコク カッコク	
オカアン アワ oka=an awa	12	暮らしていましたが	
タネ アン キコロ tane an ki kor	13	今になって	13) tane an タネ アン《今になった》。ki キは韻律上入ったもの。
セムセタクノ semsetakno	14	しばらく	14) sem-setak-no セム・セタク・ノは(否定)・短い間・(副詞形成)＝《短くない間》。
オカアン アワ oka=an awa	15	暮らしていますと、	
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok		ハン カッコク カッコク	
シネ アン トタ sine an to ta	16	ある日のこと	
アウン チセヘ a=uncisehe	17	私の家の	17) un-cisehe ウン・チセヘ《自分の住む・家》。日常語では、unihi ウニヒと言う。
キタイケタ kitayke ta	18	屋根に	
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok		ハン カッコク カッコク	
カッコク チカフ kakkok cikaf	19	カッコウ鳥が	
レウ ルウェネ。 rew ruwe ne.	20	止まりました。	

ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok	ハン カッコク カッコク		
クンネ ヘネ kunne hene	21	夜も	
トカフヘネ tókap hene	22	昼も	
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok	ハン カッコク カッコク		
レク コロカ。 rek kor oka.	23	鳴いています。	23)カッコウは1羽だけだけれども、叙事詩なので複数形 oka オカが使われている。
ネ ラポキ ne rapoki	24	その間	
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok	ハン カッコク カッコク		
アアンテ ホク a=antehoku	25	私の夫は	
オシソウンマ osisounma	26	右座で	26)右座とは、いろいろの北側(入って左側)の座で、家の主人夫婦の座るところ。
セトゥルセセッカ。 setursesekka.	27	背中あぶりしています。	27)いろいろに背を向けて座っていた。
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok	ハン カッコク カッコク		
ネフイエカ nep ye ka	28	何も	28)字足らずの3音節で、2拍しか使っていない。
ソモキキノ somo ki ki no	29	言わずに	29)初めの ki キは、昔話でも日常語でも必要な ki キ。あとの ki キは韻律を整えるために入った ki キ。
クンネレレコ kunne rerko	30	夜の日数(ひかず)は	30-33)長い間、何日も何日もを表す韻文の慣用表現。歌ったとき前半しか言わなかったが、後半も必要だとのことなのでテキストで補った。決まった対句の中には後半が省略できるものもあるが、これはできない。iwan イワン(六つ)は多いことを表す。no-ノはずいぶん多いという気持ちを表すのではないかと思うが未詳。
ノイワンレレコ noiwan rerko	31	六日	
トカフレレコ tókap rerko*	32	昼の日数(ひかず)は	
ノイワンレレコ noiwan rerko*	33	六日	
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok	ハン カッコク カッコク		
カッコクチカフ kakkok cikap	34	カッコウ鳥は	

レカカネコロ
rek kane kor

35 鳴きながら

35) kane カネがkani
カニのように発音され
ているのは歌い方によ
る。

チセキタイタ
cisekitay ta

36 屋根の上に

オカルウエネ
oka ruwe ne.

37 止まっています。

ハンカッコクカッコク
han kakkok kakkok

ハン カッコク カッコク

キロクアワ
ki rok awa

38 そうして

38) ほとんどキロカワ
に近い発音。

イイエエイワント
iye-eiwan to

39 六日目に

39) iye-e- ... イイエ・
エ... は《...番目の》。

ネルウエネ。
ne ruwe ne.

40 なりました。

ハンカッコクカッコク
han kakkok kakkok

ハン カッコク カッコク

キロカワ
ki rok awa

41 すると

ヘサシワ
hesasiwa

42 いろいろの方に

42) <he-sa-(a)si-wa
へ・サ・(ア)シ・ワ
《頭・前・立てる・...
して》、直訳すると《頭
を前の方に向けて》。
sa サ《前》とはいろいろの
側。いままで後ろを向
いていたがいろいろの方
に向き直った。

アアンテホク
a=antehoku

43 私の夫は

シキルワ
sikiru wa

44 向き直って

ハンカッコクカッコク
han kakkok kakkok

ハン カッコク カッコク

エネイタキ、
ene itak hi,

45 こう言いました。

「アシヌマアナタ
“asinuma anak

46 「私は

46) リズム上は、最初
の音節 a アを前の行末
につけている。

ネバイヌフ
nep aynuhu

47 ふつうの人間

47-49) 直訳すると《何
の人間でもない》。人
間の姿になって地上で
暮らしている神が、
「実は私はほかでもな
い...だ」と身を明かす
ときに言う慣用表現。

アネルウエカ
a=ne ruwe ka

48 では

ソモタパンナ
somo tapan na.

49 ないのだ。

ハンカッコクカッコク
han kakkok kakkok

ハン カッコク カッコク

カント オッタ kanto or ta	50	天の	
カッコクトノ kakkok tono	51	カッコウの王	51) tono トノ は殿様、役人、さむらい、神、などを指すが、ここでは、歌い手のワテケさんによれば、カッコウの神の中の王様だとのことである。
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok		ハン カッコク カッコク	
アネ ワ アナン a=ne wa an=an	52	なのだ。	
アナキ コロカ anak ki korka	53	ところが	
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok		ハン カッコク カッコク	
カムイ オッタ kamuy or ta	54	神の国では	
アヤイコトムカ a=yaykotomka p	55	私が結婚したいと思う女は	55) yay-kotom-ka ヤイ・コトム・カ(自分・に似合う・と思う)、自分の連れ合いとしてふさわしいから一緒にになりたいと思う、ということを言っている。
イサム ルウェ ネ isam ruwe ne.	56	いなかった。	
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok		ハン カッコク カッコク	
アイヌ モシルン aynu mosir un	57	人間界を	57) un ウン は方向を表し、よく(…へ)と訳される。ここでは見る方向を表しているので(…へ目を向けた=…の方を見た)。
インカラン アワ inkar=an awa	58	見ると	58) n ンの発音に注意。「ン」の音ではない。
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok		ハン カッコク カッコク	
アイヌ メノコ aynu menoko	59	あなたは人間の女	
エネ コロカイキ e=ne korkayki	60	ではあるけれども	60) korkayki コロガイキは韻文用語。日常語では korka コロカ。1音節ふやして韻律を整えている。
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok		ハン カッコク カッコク	
エアニ バテッ eamni patek	61	あなただけが	
アヤイコトムカ a=yaykotomka.	62	私の妻にふさわしかった。	
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok		ハン カッコク カッコク	

タンベクス tanpe kusu	63	だから	63) tan-pe kusu タン・ベ・クス(この・こと・のために)。
ラナン キワ rán=an ki wa	64	私は天から降りてきて	64) ki キ は韻律上入ったもの。
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok		ハン カッコク カッコク	
ウコラン キワ ukor=an ki wa	65	あなたと私は結婚して	65) u-kor ウ・コロ《互い・を持つ》は《結婚する》。ki キ は韻律上入ったもの。
オカアンルウェ oka=an ruwe	66	一緒に暮らして	
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok		ハン カッコク カッコク	
ネロカワ ne rok awa	67	いたのだが	
カント オロ ワ kanto oro wa	68	天から	
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok		ハン カッコク カッコク	
カッコク カムイ kakkok kamuy	69	カッコウの神が	
アウテック キワ a=utek ki wa	70	遣わされて来て	
イコチャランケ。 i=kocaranke.	71	私に断じこんだ。	71)私にチャランケ《談判》をしかけてきた。
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok		ハン カッコク カッコク	72) Kamuy húci カムイ フチ《神・おばあさま》。ワテケさんの発音では Kamuyuci カムユチ。Ape-húci kamuy アペフチ カムイとも言う。
カムユチネ ヤッカ Kamuy húci ne yakka	72	火の女神も	73-74) kotcakehe コッチャケヘ《...の前》は、この場合、人をかばって代わりにものを言ってあげる心理的な位置。yayunaske ヤユナスケ はいろいろ頼んだり謝ったりして依頼や命令や申し出を断ることを言う。e- エ《(そこ)で》は前の i=kotcakehe イコッチャケヘ を受ける。
イコツチャケヘ i=kotcakehe	73	私のために	
エヤユナスケ eyayunaske.	74	頼んだり謝ったりして	
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok		ハン カッコク カッコク	
ナイルカ ポカ na iruka póka	75	【せめてもう少しの間	
アコロカムイ a=kor kamuy	76	わが神を	

ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok		ハン カッコク カッコク	
アイヌ モシッタ aynu mosir ta	77	人間界に	
アンテキヤン ante ki yan.	78	いさせてあげてください】と	78) 昔話ならこのあとに sekor セコロ《...と》が入るところだが、韻律上省いている。
カムユチ カ Kamuy hūci ka	79	火の女神も	
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok		ハン カッコク カッコク	
イコッチャケ タ i=kotcake ta	80	私のためにとりなそうとして	80-81) 73-74行目と同じこと。
イエルウェ ネ ye ruwe ne	81	言ってくれた	
アナキ コロカ anak ki korka	82	のだけれど	
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok		ハン カッコク カッコク	
アウテックカムイ a=utek kamuy	83	使いの神は	83) 使いによこされた神。
オトゥチャランケ otu caranke	84	何回も何回も	84-85) otu...ore... オトゥ... オレ... 《二つも三つもの...》は、いくつもいくつもの、たくさん。
オレチャランケ ore caranke	85	私に激しく言い立てる。	
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok		ハン カッコク カッコク	
イエ ロカイネ ye rok ayne	86	言い続けられてとうとう	
ニサッタアン コロ nisatta an kor	87	明日になったら	
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok		ハン カッコク カッコク	
カント オルン kanto or un	88	私は天に	
アラバアンクニッ arpa=an kuni p	89	帰って行かなければ	
アネ ルウェ ネ a=ne ruwe ne	90	ならなくなった。	

ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok	ハン カッコク カッコク	
キワネヤクン ki wa ne yakun	91	そういうわけだから
イサマンヤッカ isam=an yakka	92	私がいなくなっても
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok	ハン カッコク カッコク	
イヨカケタ i=okake ta	93	私の行ったあとに
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok	ハン カッコク カッコク	
アイヌオッカイボ aynu okkaypo	94	人間の男が
イヨルンクンネ iyorunkur ne	95	使用人のようになって
エツナンコロワ ek nankor wa	96	来るだろうから
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok	ハン カッコク カッコク	
エチウコロキワ eci=ukór ki wa	97	あなたたちは結婚して
シネポトゥポ sine po tu po	98	子どもが一人か二人
エチウコロヤッカ eci=ukókor yakka	99	できても
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok	ハン カッコク カッコク	
スクポントムタ sukup hontom ta	100	あなたはあまり年取らないうちに
エイサムヤクン é=isam yakun	101	死んで
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok	ハン カッコク カッコク	
[ウ]カムイオッタ [u]kamuy or ta	102	神の国で
ネヤクエアシリ ne yak easir	103	こそ私たちは

93) i= イと a,e,o,u
ア、エ、オ、ウが続く
とき、しばしば y が入
る。ここでも i=okake
イ・オカケ が
iyokake イヨカケ と
発音されている。

95) i-or-un-kur イ・
オロ・ウン・クル(人・
のところ・にいる・
人)は住み込んで家の
仕事を手伝う人。居候
と訳せる場合もある。

99)子どもが生まれる
ことを kor コロ(持つ)
という語を使って、
「子どもを持つ」と言
う。ukokor ウココロ
は二人の間に子どもが
できること。

100)老死するまで生
きないでまだ若いうち
に。

101) e= エ(あなたが)
と、次の i イ とが連続
して ey エイと二重母音
で発音される。これを
é=i のように表記す
る。

103) easir エアシリ
はこの場合(…であって
初めて)。

ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok		ハン カッコク カッコク	
ソンノ ウコロ sonno ukor	104	本当の結婚	104-105)同じことを類義語を使って繰り返している。死んで、神である夫または妻のいる天国に行ってはじめて完璧な夫婦になる、という文脈での慣用的な対句表現。
シノ ウコロ sino ukor	105	まことの結婚を	
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok		ハン カッコク カッコク	
アキナンコロワ」 a=ki nankor wa"	106	するのだよ」	106) nankor ナンコロ(だろう)はこの場合予言。
セコロカイベ sekor okay pe	107	ということを	
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok		ハン カッコク カッコク	
アエコテカムイ a=hekóte kamuy	108	私の夫の神が	108) hekote ヘコテは《連れそっている...》。
イエルウェネ ye ruwe ne.	109	言いました。	
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok		ハン カッコク カッコク	
チサン キコロ cis=an ki kor	110	私は泣いて	110) ki キ は韻律上入ったもの。
オカアン アワ oka=an awa	111	いましたが	
ニサッタ アンコロ nisatta an kor	112	翌日になると	112) nisatta ニサッタは、通常は「明日」を表すが、ここでは「その翌日」の意味で使われている。
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok		ハン カッコク カッコク	
ナシクンネイワノ na sirkunne hi wano	113	まだ暗いうちから	113) hi ヒを前の音節にくっつけて ney ネイとし、6音節にしてうまく4拍に合わせている。
イワン コソント iwan kosonte	114	夫は六枚の小袖を	114-117)人間の姿で地上に暮らしていた神が天に帰る身支度をさる場面の常套句。六枚の着物を着た上からまとめて帯をしめた。
ウコエクッコロ ukoekutkor	115	着て帯を締め	115) opanere オパネレは、着たままで帯をしめないことを言う。
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok		ハン カッコク カッコク	
イワンコソント iwan kosonte	116	六枚の小袖を	

オパネレ
opanere

ハン カッコク カッコク
han kakkok kakkok

ソヨンバナ。
sóyonpa na.

オシソイネアン。
os soyne=an.

ハン カッコク カッコク
han kakkok kakkok

チセヌサ
cise nusa

ウコウトウッタ
ukoutur ta

ハン カッコク カッコク
han kakkok kakkok

オトウタツカンル
otu tapkanru

[オ]ウチウバレ
[o]uciwpare

キ ロク アイネ
ki rok ayne

シポロチカフ
síporo cikap

ネルウエネ
ne ruwe ne

ハン カッコク カッコク
han kakkok kakkok

ホブンバキナ
hopunpa ki na.

チョロボキケ
corpokike

アエパシキワ
a=epás ki wa

チサン
cís=an

バラバラクアン コロ
paraparak=an kor

117 羽織り

ハン カッコク カッコク

118 外へ出て行きました。

119 私もあとについて出ました。

ハン カッコク カッコク

120 家と祭壇との

120) nusa ヌサ(祭壇)
は家の東側にある。

121 間で

ハン カッコク カッコク

122 鳥の羽ばたきのような踏舞を

122-123) tapkanru
タップカンル は tapkar-
ru タフカラ・ル(踏舞・
道筋)。この2行は雅
語的慣用表現。tapkar
タップカラ については
「上」の「1」を参照。

123 何回もくりかえして

124 いるうちに

125 とても大きな鳥に

126 になりました。

128) 話すときは i が
落ちて corpokke チョ
ロボッケ となるのが普
通だが、歌っているの
で i がはつきり出た。

ハン カッコク カッコク

127 飛び立ちました。

129) e-pas エ・パシ
(「そこ」で・走る)。
pas パシ(走る)は北見
や樺太の cas チャシ
(走る)と同源だが、こ
の方言では特殊なとき
にしか使わず、通常は
hoyupu ホユプ[単]/
hoyuppa ホユツパ
[複]と言う。

128 私はその下を

129 走って

130 泣いて

131 大きな泣き声をあげながら

130-131) cis チシ は
一般に泣くこと。2
音節2拍を言ったと
ころで言い直した。
paraparak バラバラク
はワーワー大声で泣く
こと。

ハンカッコッカッコク han kakkok kakkok	ハン カッコク カッコク	134) 韻律の関係でsekor セ コロ<と>が省略されkiキが 入っている。日常語なら sekor hawean kor セコロハ ウェアンコロと言うところ である。
アアンテ ホク a=antehoku	132 「私の夫よ	
アカムイホク a=kamúy-hoku	133 神なる夫よ	
ハンカッコッカッコク han kakkok kakkok	ハン カッコク カッコク	136) enka エンカ[概]/ enkasike エンカシケ[所]は 離れた上方を言う。話すと きはiが落ちて enkaske エ ンカシケ と発音されるのが 普通だが、歌っているので はつきりiが出ている。
イタカンキコロ itak=an ki kor	134 と言いながら	137-138) tu suy re suy トゥスイレスイと言えは (二、三回)だがotu... ore... オトウ...オレ...の構文を使う と、(何回も何回も)。 konna コンナには積極的な 意味はない。韻文、特に叙 事詩でよく使われ、リズム を整えると同時に、次に叙 述が来ることを予告する。
バラバラカン paraparak=an	135 大声をあげて泣きました。	139) sikannatki シカンナッ キ<回る>は、ここでは輪を 描いて旋回したことを言 う。e-エ<(そこ)で>は3行 上のi=enkasike イエンカ シケ(私の上)を受ける。
ハンカッコッカッコク han kakkok kakkok	ハン カッコク カッコク	140-143) 神が人間から鳥の 姿になって天に帰って行く 場面の常套句。
イエンカシケ i=enkasike	136 夫は私の上を	141) ruyanpe ルヤンペは 日常語でよく嵐やしけをさ すが、ここでは大雨。 kunne クンネ(<kur-ne ク ル・ネ(影/姿・によって)> は(...のように)、叙事詩の 言葉。ruyanpe kunne ルヤ ンペクンネは ruyapto sane ルヤプト サネと言われること もある。
オトゥスイコンナ otu suy konna	137 何回も	142) kurka[概]/kurkasi (ke)[所]は<...の上一面>。
オレスイコンナ ore suy konna	138 何回も	143) ci-o-ranke-kar チ・ オ・ランケ カラ<(中相接頭 辞)・(そこ)に・落とす・す る>は<(そこ)に落ちた>。話 すとき、語るときは córankekar チョランケカラ と言う。o- オ<(そこ)に> は、前の行の i-kurkasike イクルカシケ(私の上)を受け ている。
エシカンナッキ esikannatki	139 回り	
ハンカッコッカッコク han kakkok kakkok	ハン カッコク カッコク	
ランケヌベ ranke núpe	140 落とす涙が	
ルヤンペクンネ ruyanpe kunne	141 大雨のように	
ハンカッコッカッコク han kakkok kakkok	ハン カッコク カッコク	
イクルカシケ i=kurkasike	142 私の上に	
チオランケカラ ciorankekar	143 落ちてきました。	
アナッキコロカ anak ki korka	144 けれども	
ハンカッコッカッコク han kakkok kakkok	ハン カッコク カッコク	

コンラム コンナ konram konna	145	夫は気持ちを	145-146) 別れを惜しんで泣きながら旋回していた神が、意を決してサッと行ってしまふシーンの慣用句。
ユッコサンバ yupkosanpa	146	しっかりと決めて	
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok		ハン カッコク カッコク	
カント コトロ kanto kotor	147	天の方へ	147)直訳すると《天の面》=《空》。
コシエタイバ kosiyetaypa	148	引かれるように行っ てしま いました。	148) ko-si-y-etaypa コ・シ・(イ)・エタイ バ《...に・自分・(挿入 子音)・...を引っぱる [複]》は直訳すると《... に向かって引っぱられ た》。
ハン カッコク カッコク han kakkok kakkok		ハン カッコク カッコク	
アヌカルミ a=nukár humi	149	全然見えなく	
ポカ イサンマ póka isam wa	150	なって	149) ここから最後まで語りになる。
アッコ チセ オッタ a=kor cise or ta	151	私は家に	
アフナンワ ahun=an wa	152	入って	
チシコカヨッセ ciskokarkarse	153	ころがりながら	
アキコロ アナン a=ki kor án=an	154	泣いていました。	153) cis-ko-karkarse チシ・コ・カヨカッセ 《泣く・とともに・こ ろがる》=《ころがりな がら泣く》。
ルウェネ アヤクン ruwe ne a yakun	155	それでは	
オンネアヤクン onne=an yakun	156	私は死んだら	
アカムイホク a=kamúyhoku	157	私の神なる夫と	156) onne オンネに は《年寄りになる》と 《年取って死ぬ》の二つ の意味があるが、ここ では死ぬこと。100- 101行目によればあまり 年取らないうちに死 ぬはずである。
トゥラノ ウコラン turano ukor=an	158	結婚を	
カムイ オッタ kamuy or ta	159	神の国で	
アキクニ a=ki kuni	160	するということ	
アカムイホク a=kamúy-hoku	161	私の神なる夫は	

イエカネコ ye kane kor	162	言いながら	
イホッパルウエ、 i=hoppa ruwe,	163	私を残して行ったのだ、	
カッコウトノ kakkok tono	164	カッコウの王を	
オロヤチキ oroyaciki	165	なるほど	165) oroyaciki オロヤチキは、あとになってから、「ああそういうことだったんだなあ」と事の次第がわかったことを表す副詞、《ああそうか、さては、なるほど》。
ホクネアコン hoku ne a=kor	166	私は夫に持っていた	167) aan アアンも、上と似たような状況で、「いまわかったことから察するとあれはこうだったんだなあ」と納得したことを表す助動詞、《...したんだなあ》。
ルウェネアアンセコ ruwe ne aan sekor	167	のだったのだなあと	
シネピッカメノコ sine pirka menoko	168	一人の美しい女性が	
ヤエイソイタク。 yayeysoytak.	169	自分のことを語りました。	

歌い手のワテケさん自身が、「kakkok kamuy yayeyukar kamuyukar カッコクカムイヤイエユカラカムイユカラ という kamuyyukar カムイユカラ を語ります」と言って歌い始めたものである。《カッコウの神が自分のことを歌った神謡》という意味だが、最後に言っているように、この話全体を叙述しているのは、カッコウの神ではなく、その妻になっていた人間の女性である。その叙述の中で、天から使いに来た神がカッコーカッコーと言ってチャランケをし、そのあとは夫の神が妻に向かって自分のことを言う。つまり、全体を叙述しているのは妻であっても主人公は夫のカッコウの神である。そのためにこのように呼ばれているのだろう。